

## (仮称) 緑の森公園保育所整備事業 令和6年4月開設に向けて

(仮称) 緑の森公園保育所は、老朽化した中央保育所と大沢第一保育所の2施設を一体化して、緑の森公園横の土地に整備することになりました。2保育所とも既存の保育所園庭での建替えの検討やそれぞれの近傍で用地を探しましたが、困難という結論に至り、土地の確保できる当地に整備する方針になったとのこと。

本整備にあたっては、既に保護者、地元自治会等に説明をし、理解をいただいていると認識していると聞き及んでいますが、実際にはまだまだ説明や周知が十分では

ないと感じています。また、既存保育所の跡地利用も今後の検討課題であり、2保育所近隣の住民への説明や意見交換も必須と考えます。

令和3年度は測量、地質調査、設計、令和4～5年度で建設、令和6年度開設というスケジュールですが、保育所の大規模化や保育所運営形態への懸念、さらには交通安全対策等々、課題は山積しています。

私は多くの方のご意見等を伺いながら、これらの課題や保育所整備について積極的に取り組んでまいります。

## 越谷市科学技術体験センター『ミラクル』 開館20周年記念特別展 サイエンチスト 宮沢賢治

昨年11月3日から令和3年1月31日まで、ミラクルの開館20周年記念として「宮沢賢治」特別展が開催され、私も科学者としての宮沢賢治の世界を堪能してきました。

宮沢賢治は「銀河鉄道の夜」などでお馴染みですが、科学者としての一面も持ち合わせていて、文学と科学の両視点から楽しむことができました。

あいにく緊急事態宣言が発令され、休館になってしま

いましたが、8月から9月に新たな視点からの「宮沢賢治展」を企画しているとのこと。ミラクルと同様な施設は県内でも3ヶ所しかない貴重な施設です。今回、ご覧になった方も来場できなかった方もこれを機会にして、多世代の方に足を運んでいただきたいと思います。



## 東日本大震災から10年 東北復興応援「つながる」取り組み 《東北フェア2021》

3月6日から21日まで「ガーヤちゃんの蔵屋敷」で東北フェア2021が開催されました。今年は品揃えも90品目に増加し、もちろん仮設住宅で誕生した「おのくん」も店頭を飾りました。コラボメニューや実施店舗も増え、大変好評だったとお聞きしています。

私は、今後も引き続き被災地復興応援に力を入れてまいります。



## 市議会議員 ごとう孝江

### 連絡先

#### ●自宅

〒343-0806 越谷市宮本町1-66-4 越谷ニューライフ205号  
TEL・FAX 048-966-5088

#### ●越ヶ谷連絡所

〒343-0813 越谷市越ヶ谷3-3-26  
TEL・FAX 048-964-3243



ホームページのアドレスは  
<https://take510.jp>

越谷市議会議員 越谷市宮本町1-66-4 越谷ニューライフ205号

# ごとう孝江

## 活動報告 2021年春 ● 第74号

ついでです！

ぬくもりある越谷を



昨年と並び統計開始から最も早い東京の桜の開花が宣言されましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

一昨年末に初めて確認された「新型コロナウイルス感染症」は、一年以上経過した現在も未だに収束の見通しがつきません。姿の見えないウイルスとの闘い、2度の緊急事態宣言による制約、抑制、緊張の日々は私たちの生活様式を変え、社会・経済も大きな痛手を受けています。ワクチン接種に期待をしていますが、当分の間は感染予防対策の継続が必須になると思います。

私は、今後も「With コロナ」「After コロナ」そして「新たな生活様式」への対応など、一層市民の皆さまに寄り添ったまちづくりに取り組んでまいります。引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

## 越谷市役所新本庁舎完成 5月から全面供用開始

建設中の新本庁舎が3月に完成し、4月17日に落成式が開催されます。去る2月9日には市議会議員を対象に内覧会が実施されました。

既に3月8日から出納課などが新本庁舎で業務を行っていますが、4月以降各部署が順次移転し、4月29日には私たち議員も新庁舎7階の議員控室へ引越をして、5月からは全面的に供用開始になります。



▲新本庁舎、中央市民会館側から 奥に現本庁舎



◀ 議場正面議長席

新本庁舎は高齢者、障がいのある方や妊婦、お子様連れの方、外国の方などにも配慮をしています。また、1、2階の東側には誰でも自由に入出できる「水郷テラス」があり、水郷越谷の景観を満喫することができます。

市民サービスの最大拠点である市役所は、7月から現在の本庁舎の解体、その後(仮称)市民協働ゾーンの建設、令和6年の完成供用開始予定です。今後も工事の進捗に注視してまいります。

# 議会報告

## 3月定例議会

令和3年3月定例会は2月22日に開会し、市長提出議案58件が上程され、すべて承認、同意、可決して3月18日に閉会しました。

### 主な議案

#### ○専決処分事項（令和2年一般会計補正予算第10号）の承認について

新型コロナウイルスワクチン接種事業に伴う補正予算（1月25日専決処分）

補正額 1億6,700万円

#### ○越谷市副市長の選任について 青山雅彦氏

#### ○越谷市介護保険条例の一部改正について

第1号被保険者（65歳以上）に係る介護保険料の見直し。4月1日から施行

〈基準額〉改定前：月額4,700円（年額56,400円）  
改定後：月額5,380円（年額64,560円）  
令和3年度～令和5年度

※令和2年度までは、所得段階を12段階で所得に応じた保険料を設定。

4月から応分負担配分を細分化し、合計所得が600万円以上を一律としていた12段階を15段階まで拡大。

#### ○越谷市下水道条例の一部改正について

下水道使用料の見直しに伴い、一般用の料金改定。（9月1日から施行し11月1日以降の検針分より適用）

※平均的な使用水量 18m<sup>3</sup>/月

改定前：1,930円 改定後：2,120円

※使用水量が8m<sup>3</sup>/月までの場合30～250円/月減額となる。使用者全体の約27%

#### ○越谷市立あだたら高原自然少年の家解体工事請負契約の締結について

契約金額 3億4,870万円  
履行期限 令和3年12月24日

※老朽化及び耐震性に支障があり、今後の方向性を検討し解体に至った。

#### ○令和2年度一般会計補正予算（第11号）ほか補正予算6件

補正予算額	一般会計	2億9,000万円減
	特別会計	4,640万円増
	病院会計	8,200万円減
	公共下水道会計	5,160万円増
補正後予算総額		2,433億6,020万6,000円

#### ○令和3年度当初予算

当初予算規模	
一般会計	1,032億円（対前年度比2.3%減）
特別会計（8会計）	577億9,900万円（対前年度比2.6%増）
病院事業会計	136億2,300万円（対前年度比10%増）
公共下水道事業会計	106億5,300万円（対前年度比1.5%減）
総額	1,852億7,500万円（対前年度比0.1%増）

令和3年度の一般会計当初予算は、新型コロナウイルス感染症が続き、リーマンショック時以上の厳しい財政環境下で、現行の行政サービスの維持と市民の多様なニーズへの対応がなされています。

歳入では市税の減収が見込まれますが、積極的な財源確保にも努めています。しかし、財政調整基金からの35億円の繰入れについては、「第5次総合振興計画 前期基本計画」を着実に推進するためと判断しますが、将来の財政負担に備えて可能な限り補正予算で積み戻すことが必要です。

歳出ではコロナ禍においても「市民の安全・安心」に配慮した予算配分で、越谷市の目指すまちづくりの実現と新たな生活様式に向けた積極的な予算編成となっています。

## 予算特別委員会 ごとう孝江の主な質疑

「水と緑と太陽に恵まれた みんなが活躍する安全・安心・快適都市」を目指して

問 令和3年度予算編成の過程と地方交付税も含む財政運営の考え方は。

答 第5次総合振興計画の財政計画において、市税で約30億円の減収が見込まれたため、当初予算編成では「真に必要な行政サービス」を提供できるように、例年以上の事務事業の見直しや、財源確保に努めた。限られた財源で、基本的な行政サービスを維持しつつ、緊急性や優先順位などを考慮し、予算編成を行った。また、事業の見直しにあたっては関係機関との調整を要するなど、すぐには結果を出せないものもあるが、引き続き見直しへ向けた協議や検討を進める。

問 新型コロナウイルスワクチン接種について

- ・接種会場への公共交通などの足の確保
- ・高齢者、障がい者（聴覚・視覚障がい者）への対応

答 ・会場への足の確保については、予約状況によりバス会社と調整していく。

・会場で介助等が必要な方に対応できるよう検討。筆記ブースを設置。クーポン券送付時の工夫と、丁寧なホームページやコールセンターの接種案内などで誰にでもわかりやすい対応に取り組む。また、個別接種についても3月中には状況が判明する予定。

問 コロナ禍で深刻化する自殺やひきこもりの対策は。

答 自殺対策ではコロナ禍で実施できなかった駅頭キャンペーンやゲートキーパー研修などできるところから再開したい。ひきこもり対策では民生委員などを対象にした研修を予定。教育委員会と協力しPTA対象も検討。

問 新型コロナウイルス感染症により延期となった「越谷市と越ヶ谷地区合同総合防災訓練」の今後の予定は。



▲総合防災訓練(2019年南越谷地区)

答 感染症対策に万全を期して、指定避難所開設訓練や4月から運用開始するスマートフォンアプリ「防災こしがや」などを活用したオンライン訓練など、訓練場所や内容について地区の考えをお聞きしながら進める。

問 住宅用火災警報器の設置義務化から10年経過し、電池寿命の時期になる。維持管理及び設置促進の市民への周知方法として民間企業との連携は。

答 これまでの周知方法に加え、老人クラブ連合会との協力体制を進めている。また、埼玉県東部ヤクルト販売(株)と包括連携を締結した。今後、市内のヤクルトレディが警報器の普及や維持管理のチラシ等を活用して広報していく。

★早速3月15日に対応策が決定し、来年度を待たずに取り組み開始。

問 私も切望していた「広報シティプロモーション課」が新設されるが、推進事業の具体的な取り組みは。

答 「社会・経済・環境」「住む・働く・学ぶ」視点で多くの方から「選ばれるまち 越谷」を目指していく。令和3年度は本市が持つ価値やイメージについてマーケティング調査を委託し、今後のシティプロモーションの方向性を検討する。

### その他主な質疑項目

- 「まるごとまちごとハザードマップ事業」の洪水ハザード標識の具体的な設置場所等と市民への周知は。
- 成年後見事業の拡充策として市民後見人と弁護士等の専門家との地域連携ネットワークの構築は。
- コロナ禍の介護を取り巻く現状と今後の課題は。
- コロナ禍における健康診査、各種検診、各種がん検診及び各予防接種と新型コロナウイルスワクチン接種スケジュールの調整は。また、市民への周知は。
- 粗大ごみの収集で、高齢者世帯など集積所まで運搬できない人への対応策は。
- 産業支援事業ビジネスパワーアップ事業の申請の簡素化とヒアリング方法。
- コロナ禍における選挙投開票所、期日前投票所対応と選挙区の周知は。
- 児童生徒1人1台の端末を使った授業と文科省の研究委嘱事業の取り組みは。
- 小中一貫校整備の課題と対応は。